

令和7年11月11日

各位

トモニホールディングスグループの令和8年3月期第2四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和8年3月期第2四半期（令和7年4月1日～令和7年9月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：有木 浩）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 令和8年3月期第2四半期（令和7年4月1日～令和7年9月30日）連結業績

当第2四半期における経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息の増加により資金運用収益が増加したこと、役務取引等収益が増加したこと、株式売却益の増加によりその他経常収益が増加したこと等により、前年同期比6,332百万円増加して51,769百万円となりました。経常費用は、預金利息の増加により資金調達費用が増加したこと、また、取引先企業の事業再生支援に伴う引当の計上に加え、第2四半期末後に発生した取引先企業の会社更生法適用申請に伴う追加引当2,743百万円の計上等により与信関連費用が増加したこと等により、前年同期比9,032百万円増加して41,911百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比2,699百万円減少して9,858百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比3,015百万円減少して5,668百万円となりました。

当第2四半期末における財政状態につきましては、総資産残高は前年度末比1,025億円増加して5兆1,371億円となり、純資産残高は前年度末比63億円増加して2,903億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前年度末比869億円増加して4兆6,312億円、貸出金残高は前年度末比593億円増加して3兆7,491億円、有価証券残高は前年度末比114億円減少して7,238億円となりました。

		令和8年3月期 第2四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	51,769百万円	6,332百万円
	経常費用	41,911百万円	9,032百万円
	経常利益	9,858百万円	△2,699百万円
	親会社株主に帰属する中間純利益	5,668百万円	△3,015百万円
		令和8年3月期 第2四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	51,371億円	1,025億円
	純資産	2,903億円	63億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	46,312億円	869億円
	貸出金	37,491億円	593億円
	有価証券	7,238億円	△114億円
	自己資本比率（国内基準）	9.55%	0.09%

(2) 令和8年3月期通期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）連結業績予想

令和7年5月13日に公表しております令和8年3月期通期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正しております。

①修正内容

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	24,850	16,500
今回修正予想（B）	26,050	16,500
増減額（B－A）	1,200	－
増減率（％）	4.8	－

②修正理由

第2四半期の連結業績は、上記のとおり第2四半期末後の大幅な与信関連費用の計上等もあり、公表しておりました連結業績予想（経常利益11,850百万円、親会社株主に帰属する中間純利益8,000百万円）を大きく下回りましたが、第3四半期以降は、貸出金利息が400百万円（外貨調達コスト控除後では850百万円）程度、有価証券利息配当金が200百万円（外貨調達コスト控除後では1,100百万円）程度当初見込みを上回ることが見込まれるとともに、国債等を主体として有価証券関係損益の計上が1,900百万円程度当初見込みを上回ることが見込まれること等により、令和8年3月期通期の連結業績予想のうち経常利益につきまして上方修正するものであります。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、修正ございません。

2. 徳島大正銀行

(1) 令和8年3月期第2四半期（令和7年4月1日～令和7年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息が増加したこと等により、前年同期比1,084百万円増加して26,183百万円となりました。

また、上記要因に加え、外貨調達に伴う外国為替売買損が減少したこと等により、コア業務粗利益は、前年同期比2,236百万円増加して18,318百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比2,107百万円増加して8,967百万円となりました。

経常利益は、債券リバランスによる国債等債券売却損2,548百万円の計上に加え、第2四半期末後に発生した取引先企業の会社更生法適用申請に伴う追加引当2,743百万円の計上で与信関連費用が増加したこと等により、前年同期比2,632百万円減少して3,927百万円となり、中間純利益は、前年同期比2,102百万円減少して2,280百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年度末比532億円増加して2兆5,160億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比688億円増加して2兆6,832億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比113億円増加して2兆439億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.59%となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比1,255百万円増加して34,824百万円、総与信に占める割合は1.67%となりました。

		令和8年3月期 第2四半期	前年同期比
損益	経常収益	26,183百万円	1,084百万円
	コア業務粗利益	18,318百万円	2,236百万円
	コア業務純益	8,967百万円	2,107百万円
	経常利益	3,927百万円	△2,632百万円
	中間純利益	2,280百万円	△2,102百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	5,249百万円	1,008百万円
	与信関連費用	2,975百万円	2,528百万円
		令和8年3月期 第2四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	27,500億円	599億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	25,160億円	532億円
	総預り資産	26,832億円	688億円
	貸出金	20,439億円	113億円
	有価証券	3,772億円	△111億円
	自己資本比率（国内基準）	8.59%	△0.03%
不良債権	金融再生法開示債権額	34,824百万円	1,255百万円
	総与信に占める割合	1.67%	0.05%

(2) 令和8年3月期通期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）単体業績予想

令和7年5月13日に公表しております令和8年3月期通期の単体業績予想につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	13,250	8,700
今回修正予想（B）	14,000	8,900
増減額（B－A）	750	200
増減率（%）	5.6	2.2

3. 香川銀行

(1) 令和8年3月期第2四半期（令和7年4月1日～令和7年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息、役務取引等収益及び株式等売却益が増加したこと等により、前年同期比5,032百万円増加して22,316百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、外貨調達に伴う外国為替売買損が減少したこと等により、前年同期比817百万円増加して14,233百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比575百万円増加して6,730百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が増加したことから、前年同期比50百万円減少して5,747百万円となり、中間純利益は、法人税等の増加により前年同期比825百万円減少して3,316百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比342億円増加して2兆1,229億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比426億円増加して2兆2,776億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比478億円増加して1兆7,133億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は10.28%となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比3,169百万円増加して35,393百万円、総与信に占める割合は2.01%となりました。

		令和8年3月期 第2四半期	前年同期比
損益	経常収益	22,316百万円	5,032百万円
	コア業務粗利益	14,233百万円	817百万円
	コア業務純益	6,730百万円	575百万円
	経常利益	5,747百万円	△50百万円
	中間純利益	3,316百万円	△825百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	4,328百万円	400百万円
	与信関連費用	3,887百万円	3,755百万円
		令和8年3月期 第2四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	23,759億円	415億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	21,229億円	342億円
	総預り資産	22,776億円	426億円
	貸出金	17,133億円	478億円
	有価証券	3,450億円	△5億円
	自己資本比率（国内基準）	10.28%	0.21%
	金融再生法開示債権額	35,393百万円	3,169百万円
不良債権	総与信に占める割合	2.01%	0.13%

(2) 令和8年3月期通期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）単体業績予想

令和7年5月13日に公表しております令和8年3月期通期の単体業績予想につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	11,100	7,550
今回修正予想（B）	11,500	7,200
増減額（B－A）	400	△350
増減率（％）	3.6	△4.6

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
株式会社徳島大正銀行 企画部
株式会社香川銀行 総合企画部

TEL：087-812-0102
TEL：088-656-1118
TEL：087-812-5132